



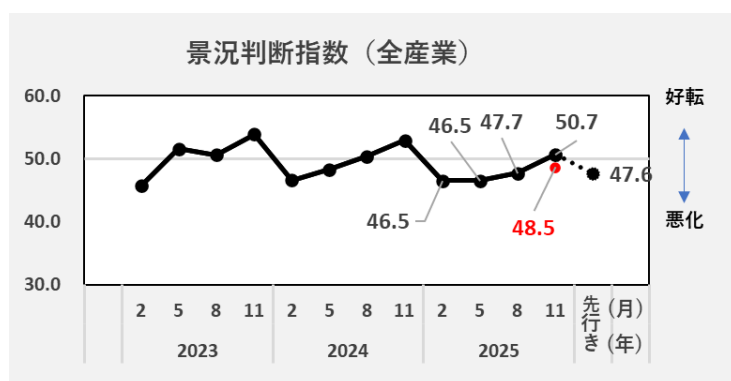
### 商工中金景況調査（2025年11月調査・定例分）の公表について

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）は、概ね四半期に一度、中小企業の景況感などの実態把握のため景況調査を実施しています。今般、2025年11月調査のうち、毎回共通の質問項目（定例分）の結果を公表しました。

#### <2025年11月の景況感>

#### 11月の景況判断指数は、4期ぶり「好転」超

11月の景況判断指数は50.7と4期ぶりに「好転」超となりました。業種別では、輸送用機器、金属製品、鉄・非鉄で米国関税政策に関する不透明感が緩和されたことなどから「好転」超となりました。

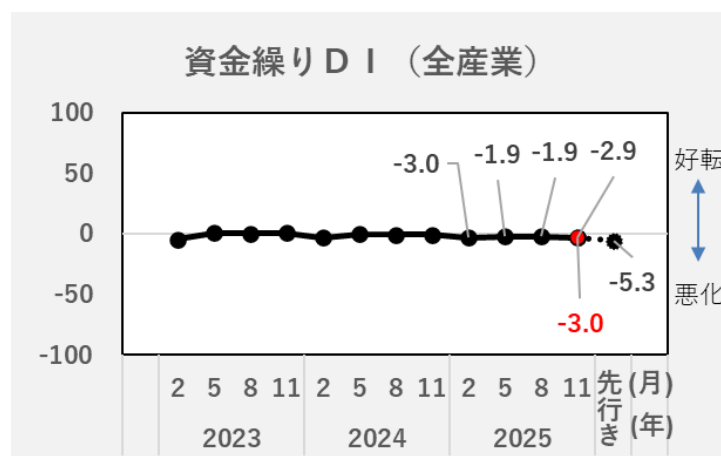


#### <2025年11月の業況判断>

#### 【資金繰り】電気機器を除く業種で「悪化」超

11月の資金繰りDIは、電気機器を除く業種で「悪化」超となりました。先行きに関しても、全業種で小幅に「悪化」超幅が拡大する見込みです。

本調査の自由記載欄では、「取適法施行による資金繰りへの影響」を懸念する声などが聞かれました。



詳細は本編資料([こちら](#))をご覧ください。